

予算決算常任委員長報告

平成28年10月3日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案15件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る9月9日及び9月20日から29日までの計8日間委員会を開催し、審査初日には、市長の出席を求め、会派の代表による決算に関する総括質疑を行いました。

また、各議案の審査においては、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

先ず、決算認定に関する議案11件について申し上げます。

議案第85号「平成27年度三次市病院事業会計歳入歳出決算認定について」は、審査の結果、賛成多数をもって認定してよいものと決しました。

次に、議案第76号「平成27年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」外議案9件については、いずれも全員一致をもって認定してよいものと決しました。

決算審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

- 1 議案第85号「平成27年度三次市病院事業会計歳入歳出決算認定について」は、薬品などの購入に際し、減価償却費から流用したことは不適切な会計処理であると監査委員からも指摘されており、このことは議会軽視と言わざるを得ない。今後は、二度とこのようなことが起きないように、本来行うべき補正予算などの適切な事務処理を行うこと。
- 2 議案第86号「平成27年度三次市水道事業会計決算認定について」は、簡易水道との統合を見据えて、有収率や接続率を高めるなど効率的な事業運営や安定的な経営維持を図る取組を進めるとともに、早期にマスタースケジュールを立て、十分市民に周知されたい。

続いて、補正予算に関する議案4件について申し上げます。

議案第87号「平成28年度三次市一般会計補正予算(第3号)(案)」外3件については、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

補正予算審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

- 1 施設改修にあたっては、その目的や維持管理の方法など、事前に議会に説明がなされるよう十分留意されたい。
- 2 三次版DMOについて、対象となる組織や行政との関わりを含め、どのような三次版観光を作っていこうとしているのか早急に明らかにされたい。
- 3 複数部署にまたがる施設の維持管理、修繕や改修工事にあたっては、部署間の連携を密接にして、できるだけ同時進行を行い、無駄のない円滑な事業の実施に努められたい。
- 4 予算編成時において、新たな事業実施や課題解決に向けた取組など、それぞれの様々な特徴を捉え、可能なものは当初予算に計上し、年度間を通した均等な発注や年度初めからの事業執行が行えるよう、よりスピーディーな対応に努められたい。

以上、述べました事項のほか、各委員から述べられた指摘及び意見についても、十分に反映していただくこと、更には、議会からの要求については、審査等において必要と判断しお願いしているものでありますから、今後、できる限りの対応を願いたい。また、今回の決算審査を踏まえ新年度予算編成にあたっていただくよう意見し、委員長報告を終わります。